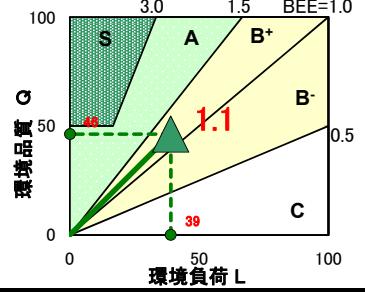
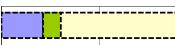
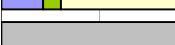
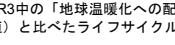
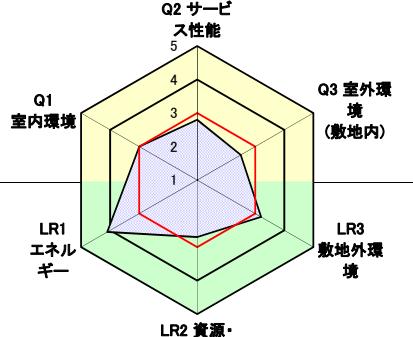


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観										
建物名称	(仮称)平尾2丁目計画 新築工事	階数	地上 14F									
建設地	福岡県福岡市中央区平尾2丁目73番	構造	RC造									
用途地域	商業地域	平均居住人員	XX 人									
地域区分	7地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)									
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価									
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年4月6日									
敷地面積	1,171 m ²	作成者	宗信 宏隆									
建築面積	658 m ²	確認日										
延床面積	5,572 m ²	確認者										
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)										
BEE = 1.1  S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★ C: ★		 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★ 80%: ★★★ 100%: ★★ 100%超: ★										
 <p>G 環境負荷 L BEE=1.1 S: 46 A: 3.0 B+: 1.5 B: 0.5 C: 39</p>		標準計算 ①参照値  ②建築物の取組み  ③上記+②以外の  ④上記+  このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したもので										
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		 <p>Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内)</p>										
2-4 中項目の評価(バーチャート)		<p>Q のスコア = 2.8</p> <table border="1"> <tr> <td>Q1 室内環境</td> <td>Q2 サービス性能</td> <td>Q3 室外環境(敷地内)</td> </tr> <tr> <td>Q1のスコア = 3.0</td> <td>Q2のスコア = 2.8</td> <td>Q3のスコア = 2.5</td> </tr> <tr> <td>音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境</td> <td>機能性 耐用性 対応性</td> <td>生物環境 まちなみ 地域性・</td> </tr> </table>		Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	Q1のスコア = 3.0	Q2のスコア = 2.8	Q3のスコア = 2.5	音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	機能性 耐用性 対応性	生物環境 まちなみ 地域性・
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)										
Q1のスコア = 3.0	Q2のスコア = 2.8	Q3のスコア = 2.5										
音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	機能性 耐用性 対応性	生物環境 まちなみ 地域性・										
LR 環境負荷低減性 <table border="1"> <tr> <td>LR1 エネルギー</td> <td>LR2 資源・マテリアル</td> <td>LR3 敷地外環境</td> </tr> <tr> <td>LR1のスコア = 4.1</td> <td>LR2のスコア = 2.7</td> <td>LR3のスコア = 3.2</td> </tr> <tr> <td>建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的</td> <td>水資源 非再生材料の 汚染物質</td> <td>地球温暖化 地域環境 周辺環境</td> </tr> </table>		LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LR1のスコア = 4.1	LR2のスコア = 2.7	LR3のスコア = 3.2	建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	水資源 非再生材料の 汚染物質	地球温暖化 地域環境 周辺環境	<p>LR のスコア = 3.4</p>	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境										
LR1のスコア = 4.1	LR2のスコア = 2.7	LR3のスコア = 3.2										
建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	水資源 非再生材料の 汚染物質	地球温暖化 地域環境 周辺環境										
3 設計上の配慮事項 <table border="1"> <tr> <td>総合</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域の特性や景観に配慮した建物を目指し、室内環境・室外環境への配慮を行うことで、地球環境保全に貢献しています。 道筋に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。 </td> <td>0</td> </tr> </table>		総合	その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性や景観に配慮した建物を目指し、室内環境・室外環境への配慮を行うことで、地球環境保全に貢献しています。 道筋に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。 	0							
総合	その他											
<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性や景観に配慮した建物を目指し、室内環境・室外環境への配慮を行うことで、地球環境保全に貢献しています。 道筋に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。 	0											
Q1 室内環境 <ul style="list-style-type: none"> 階床遮音性能に配慮しました。また、ホルムアルデヒドの発散を抑えた。 建材を使用し、安全で快適な居室空間に努めました。 内装材等にはF★★★★★を採用しました。 		Q2 サービス性能 <ul style="list-style-type: none"> 段差や廊下幅などバリアフリーに配慮し、高齢者や障がいの方にも安心で安全な建物を目指しました。 福岡市福祉のまちづくり条例の整備基準をクリアしました。 										
LR1 エネルギー <ul style="list-style-type: none"> L E D照明などの高効率設備機器を採用しました。 		Q3 室外環境(敷地内) <ul style="list-style-type: none"> 敷地は大通りからも見えるため、周囲の街並みに配慮した景観計画としました。 道筋に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。 										
LR2 資源・マテリアル <ul style="list-style-type: none"> 屋外駐車場の一部を住棟内に取り込み、屋外アスファルト面を縮小するなど、ヒートアイランド現象の緩和を図りました。 1階の約半分を駐車場として計画しました。 		LR3 敷地外環境 <ul style="list-style-type: none"> 光害(漏れ光など)によって周囲に悪影響を与えないよう、外灯などの照明器具は設置位置や高さに配慮しました。 外灯の点灯・消灯はタイムスケジュール制御としています。 										

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケーブルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケーブルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される